

令和 6 年 11 月 22 日

議会報告会報告書

流山市議会議長 坂巻 儀一 様

議会広報広聴特別委員会委員長 森田 洋一

第 24 回議会報告会の概要は下記のとおりでしたので、報告します。

記

1 日時

令和 6 年 11 月 9 日 (土)

第 1 部 午後 1 時 30 分 ~ 午後 2 時 00 分

第 2 部 午後 2 時 10 分 ~ 午後 3 時 20 分

2 場所

南流山センター

3 欠席議員

鈴木 ゆうすけ 議員

4 参加者数

市民来場者 38 人、議員 27 人・職員 3 人

5 概要

(1) 第1部

第1部は参加された市民の皆さんに対する議会活動報告として、「決算を次の予算につなげよう」のテーマで、13時30分から14時までの予定で、実際には14時15分まで行われました。

報告内容としては、まず決算に対して市民の皆さんが抱いていた印象を問い合わせし、決してマイナーメンバーのものではないことを説明。続いて実際の決算が持っている役割の重要性を一年間の議会全体の流れの中で説明。そして決算の要となる議会全体の合意事項の重要性について、その具体例なども挙げながら、決算審査特別委員会のプロセスも含めて説明をしました。

さらに、令和6年の第3回定例会の決算審査特別委員会において行われた令和5年度（2023年度）の決算について、各会派と会派に所属しない議員自らがそれぞれの見解や指摘・要望事項、そして議会全体の合意となつた指摘・要望事項についての報告を行いました。

添付の資料1は、令和5年度の一般会計決算における指摘要望事項の会派提出分。

資料2は上に同じく議会全体の合意事項分。

資料3は11月15日発行の「議会だより」に掲載の各会派と会派に所属しない議員の意見表明の記事のテキストです。

(2) 第2部

別紙のとおり。

6 所感

(1) 第1部

今回の議会報告会は、これまで開催した報告会で多く採用された、議会を常任委員会などを単位とする4つの班に分かち、市内の4カ所に分散して開催するという方式は取りませんでした。議会報告会の新しい在り方を探ろうということで、新しい開催方式を試みました。それが、議員全員が一堂に会する方式であり、同

時に、第1部を全議員と全参加者が向かい合う形式、第2部を議員側が4つの常任委員会に分かれて市民と向かい合う形式として開催する方式でした。

第1部はまさに議会全体と参加市民全員が相対する形を取りましたが、そこで決算に対する見解と指摘要望事項を各会派と各議員がそれぞれ自らの言葉で語ることで、その後の第2部での市民と議員との活発な意見交換に繋げることができたと考えます。

(2) 第2部
別紙のとおり。